



雄大な那須高原の自然と彫刻の広場 「道の駅 那須高原友愛の森」

「道の駅 那須高原友愛の森」は、東北自動車道那須インターより北西へ約5km、那須温泉郷に通じる県道那須高原線沿いにあります。町内産の芦野石、八溝材を使用した格式ある日本風の建物が目印です。

観光情報、休憩施設が充実している他、地元・那須ならではの交流機能も整っています。

交流センター「アグリ情報館」は、観光や農業情報の発信基地として、平成18年4月にオープンしました。館内には那須の魅力を紹介する映像が流れ、タッチパネルによる情報検索もできます。また、交流スペースでは、那須のかたりべ口演会やミニ音楽会の開催、地場産品の展示即売などが行われています。

町内職人の腕自慢「工芸館」

敷地の奥、石畳が続く先にある工芸館の店内には、那須町内の職人が心を込めて作った竹細工や木工、陶器、石製品など、様々な工芸品が所狭しと並べられています。

工芸師たちの実演や体験コーナーもあり、ひと味違った感動が得られます。

ケヤキや桑、杉、梅などで作った花台は、ミニテーブルとして使ってみてはいかがでしょうか。

また、800年の歴史を誇る那須籐細工は、那須訪問の記念に最適です。

那須の食レストラン「なすとらん」

「なすとらん」は、食と観光の振興、食による地域活性化に貢献するレストランです。新鮮な野菜や季節の山菜、美味しいコシヒカリ、牛乳、そして那須和牛など、さまざまな地元の食材を活用した「おふくろの味」を提供しています。

「旬の野菜天ぷら定食」や「那須高原野菜カレーセット」、「那須和牛ステーキ丼」などの定番メニューの他、季節限定メニューもあります。口いっぱい、那須の自然を味わってください。

那須の昔話を伝える「かたりべ口演会」

交流ホールで開催されている「かたりべ口演会」は、那須の昔話を生で聞くことができる催しです。

多くの民話が残っている那須を今に伝える活動を、平成6年に結成された「那須のかたりべ」（会員7名）の皆さんが、ボランティアで行っています。この2年間で延べ7千人の方が、現実を離れた民話の世界を楽しまれました。

昨年12月1日から休演していますが、今年も3月22日（土）より開演する予定です。毎週土・日曜、祝日の11時、13時、14時開始で、1日3回の口演です。

物ではなく、心に残るお土産はいかがですか。

交流ホールで、お待ちしております。

